

4常任委員会連合審査会

令和2年3月13日（金）

午後2時28分～午後3時25分

議会大会議室

- 【出席委員】（総務委員会）松永幹哉委員長、村岡 卓副委員長、西岡真一委員、
白倉和子委員、久米勝博委員、松永憲明委員、中山重俊委員、
福井章司委員、平原嘉徳委員
（文教福祉委員会）池田正弘委員長、永渕史孝副委員長、富永明美委員、
久米勝也委員、重田音彦委員、川崎直幸委員、嘉村弘和委員、
山下明子委員
（経済産業委員会）千綿正明委員長、宮崎 健副委員長、御厨洋行委員、
山下伸二委員、野中宣明委員、重松 徹委員、山口弘展委員、
川原田裕明委員、江頭弘美委員
（建設環境委員会）山田誠一郎委員長、野中康弘副委員長、
中村宏志委員、川副龍之介委員、堤 正之委員、武藤恭博委員、
中野茂康委員、黒田利人委員、西岡義広委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・総務部 池田総務部長
- ・市民生活部 眞崎市民生活部長
- ほか、関係職員

【案件】

- ・付託議案について

○松永幹哉総務委員長

ただいまから第1号議案 令和2年度佐賀市一般会計予算のうち、第1条第1表歳入全款及び第4条第4表地方債について、4常任委員会による連合審査会を開催します。

まず、本日の審査日程について、お手元の審査日程案のとおり進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、この審査日程案どおり審査したいと思います。

審査に入ります前に、注意していただきたい点を幾つか申し上げます。

発言される場合は、まず挙手をして指名されてからマイクを使用の上、発言してください。

執行部におかれましては、委員会は限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。

また、答弁は役職にかかわらず、質問に対して回答できる方がされるようお願いいたします。次に、委員の皆様に申し上げます。

質疑については、予算の歳入ですので、その範囲内でよろしく申し上げます。質疑の該当資料のページ及び項目等を示した上で、1回につき1問に絞って質疑をしていただければと思います。

それでは、審査に入ります。

まず、歳入第1款から第12款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第1号議案 令和2年度佐賀市一般会計予算中、歳入第1款、第2款、第3款、第4款、第5款、第6款、第7款、第8款、第9款、第10款、第11款、第12款 説明

○松永幹哉総務委員長

ただいまの説明について、委員の皆さんの質疑をお受けします。質疑のある方は挙手をお願いします。

○松永憲明委員

個人市民税の件についてお伺いします。

5番の資料の歳入の市税のところの表現なんですけれども、前年度比1.6%減の308億4,800万円を計上したと。そこで、個人市民税は雇用情勢の改善等によりと書いてあるわけなんですけれども、給与所得の伸びが期待できるといいながら、前年度と比較しても2.0%減という形になっているわけですが、その整合性はどういうふうを考えられていますか。

○一番ヶ瀬市民生活部副理事兼市民税課長

当初予算ベースで比べますと、確かに減少いたしますが、今年度、ノリの養殖業者の方の営業所得とかがすごく落ち込んでまいったために、約4億9,000万円、11月補正で減額しております。それと比較すると、伸びはあります。

当初予算ベースで比べますと、前年度伸びがあると思っていたんですけど、その営業所得とかが結構引っ張って、結果的に今年度見込みが減額になると。だから、当初予算ベースで比べますと減少なんですけど、今年度の決算見込みと比べますと、令和2年度の当初は増加するというふうに見込んでいるところでございます。

○松永幹哉総務委員長

いいですか。

○一番ヶ瀬市民生活部副理事兼市民税課長

もう少し詳しく言いますと、平成31年度の当初予算は、平成29年度、平成30年度とかをずっと見まして、伸びるだろうと思っていたんですけど、思ったほど伸びなかったと。前年度よりは増えているんですけど、平成31年度はもっと伸びるだろうと思っていたのがそこまで伸びなかったと。

ですから、平成31年度の分よりは低めなんですけど、今年度の分の決算見込みよりは増額するという形で、令和2年度の予算として上げているものでございます。

○山下明子委員

参考までにお聞きしておきたいんですが、これは要するに当初予算の話をしてきたときに出てきた計算で、現実、今、目の前に横たわっているのを見たら、リーマンショック並みの世界的な状況というのが見えてきている中で、つまり、今この数字を見ながらですが、参考までに。だから、どこかで補正するとなったときに、どの時点での補正に、例えば、今、税金を払えないとか廃業しそうだとかという動きが現実にあるじゃないですか。だから、これは当初で上がってきていますが、現実の動きというのは、次はどの段階で、つまり、当初ですぐ補正したりすることがあったりしますが、例えば6月補正で出るのかとか、9月で出てくるのかとか、その現れ方というのはどこで調整されていくのか、ちょっとお聞きしておきたいんですが。

○一番ヶ瀬市民生活部副理事兼市民税課長

当初予算は、個人の市民税というのは昨年の1月から12月分の所得でございますので、その分については新型コロナウイルスとかの影響はないものと思っております。

また、法人市民税につきましても、ほとんどの企業が4月から3月ということで上げられますので、その分が来年度の市税として入ってきますので、実際影響が出るというのは、かなり影響するというのは令和3年度の予算だというふうに思っております。

○松永幹哉総務委員長

ほかに。

○重田委員

5番の資料の3ページ、主要基金の残高ということで、平成28年度をピークにずっと減って行って、特に財政調整基金というのは70億円ぐらい減って、このペースで減っていったら、あと3年ぐらいには基金がなくなるんじゃないかなという感じがあるんですよ。そういう長期の見通しはどうなっているんですか。

○大久保財政課長

特に令和元年度、今年度が決算見込みが大きく減少しています。財政調整基金は34億円ぐらい減少していますが、これも当初予算の段階で、やはり30億円ほど基金を繰り入れて予算編成をしたと、それが大きく影響しております。その内容が普通交付税の錯誤分で9億円ほど、過年度分の調整があったものですか、久保田地区の給排水で3億円とか、単発的なものが出たというものが大きかったんですが、そういったものが来年度の予算ではありませんので、今度は基金の繰入額としては14億円ほどに抑え込んでいるという状況でございます。

あと、これはあくまでも当初予算の段階でございますので、決算剰余金が出れば基金を積み立てますし、3月の不用額が出ればまた基金を押し戻すという対応をしたいと思っております。

いますので、今のところ、すぐさま基金がなくなるというふうには考えておりませんが、いずれにしても、財政調整基金は災害等に備えて当然持つておかななくてはいけないものですから、残高等を注意しながら財政運営に当たりたいというふうに思っております。以上でございます。

○松永幹哉総務委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、第1款から第12款までの質疑を終わります。

これ以降の審査に関係のない職員は退席されて結構です。

◎関係職員以外退席

○松永幹哉総務委員長

それでは次に、歳入第13款から第16款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第1号議案 令和2年度佐賀市一般会計予算中、歳入第13款、第14款、第15款、第16款
説明

○松永幹哉総務委員長

ただいまの説明について、御質疑のある方は挙手をお願いします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、最後に、歳入第17款から第22款及び地方債について、執行部の説明を求めます。

◎第1号議案 令和2年度佐賀市一般会計予算中、歳入第17款、第18款、第19款、第20款、
第21款、第22款、地方債 説明

○松永幹哉総務委員長

ただいまの説明について、御質疑ある方は挙手をお願いします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、以上で第1号議案のうち、歳入全款及び地方債に関する審査を終わります。

執行部の皆様は退席されて結構でございます。お疲れさまでした。

◎執行部退室

○松永幹哉総務委員長

本日の審査に伴う主な質疑、意見等は、総務委員会の審査報告の中で補足して報告いたしますので、報告に関して何か御質疑、御意見等ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、総務委員会の正副委員長で調整させていただきますので、よろしく申し上げます。

以上で4常任委員会の連合審査会を閉会します。お疲れさまでした。